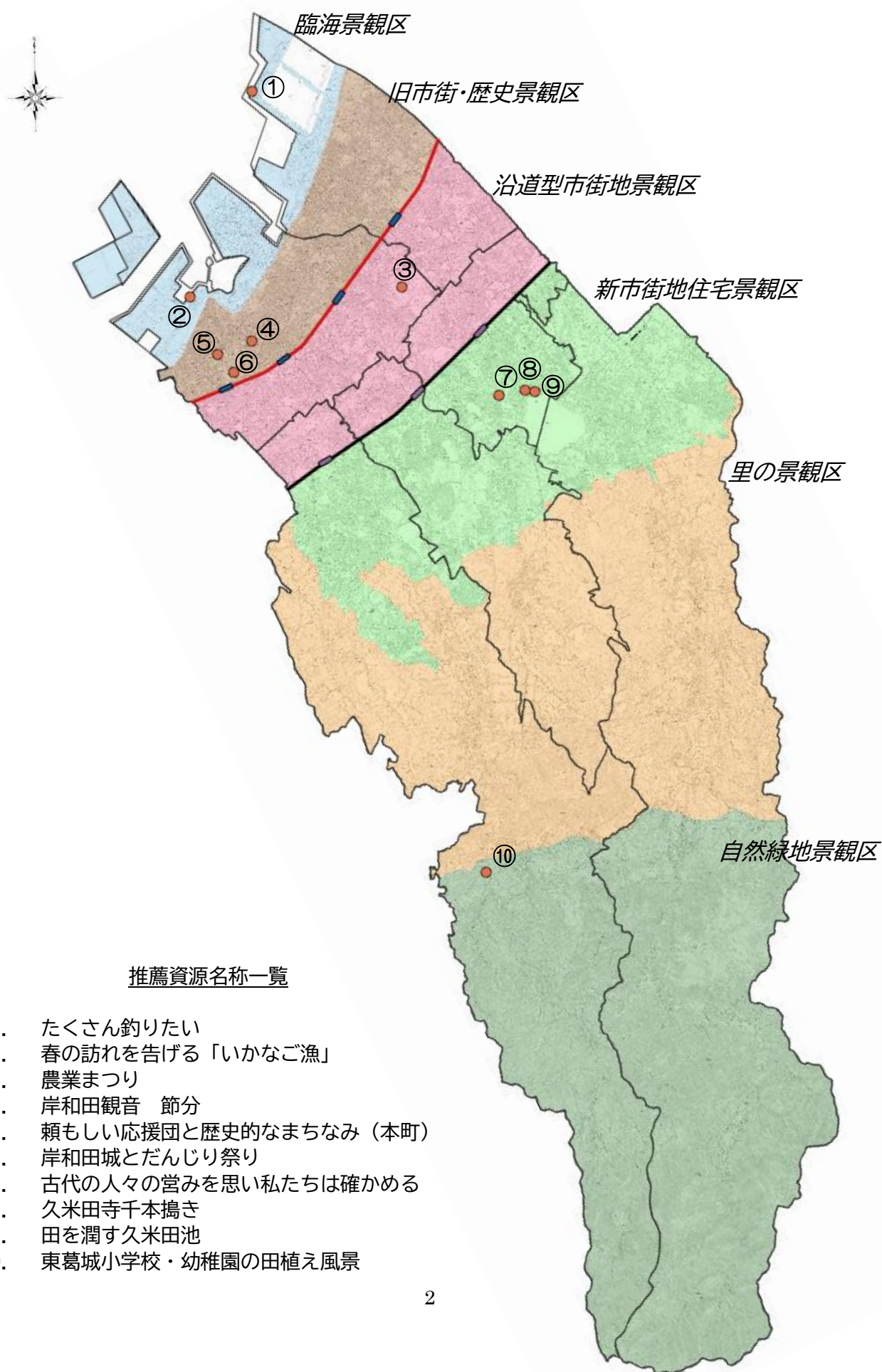


令和2年度

こころに残る景観資源（ひとの営み景観）10件について

令和3年1月29日  
岸和田市景観審議会

# こころに残る景観資源（ひとの営み景観）の推薦箇所一覧



## 推薦資源名称一覧

1. たくさん釣りたい
2. 春の訪れを告げる「いかなご漁」
3. 農業まつり
4. 岸和田観音 節分
5. 頼もしい応援団と歴史的なまちなみ（本町）
6. 岸和田城とだんじり祭り
7. 古代の人々の営みを思い私たちは確かめる
8. 久米田寺千本搦ぎ
9. 田を潤す久米田池
10. 東葛城小学校・幼稚園の田植え風景

# 1. 推薦資源の詳細と講評

## ① たくさん釣りたい

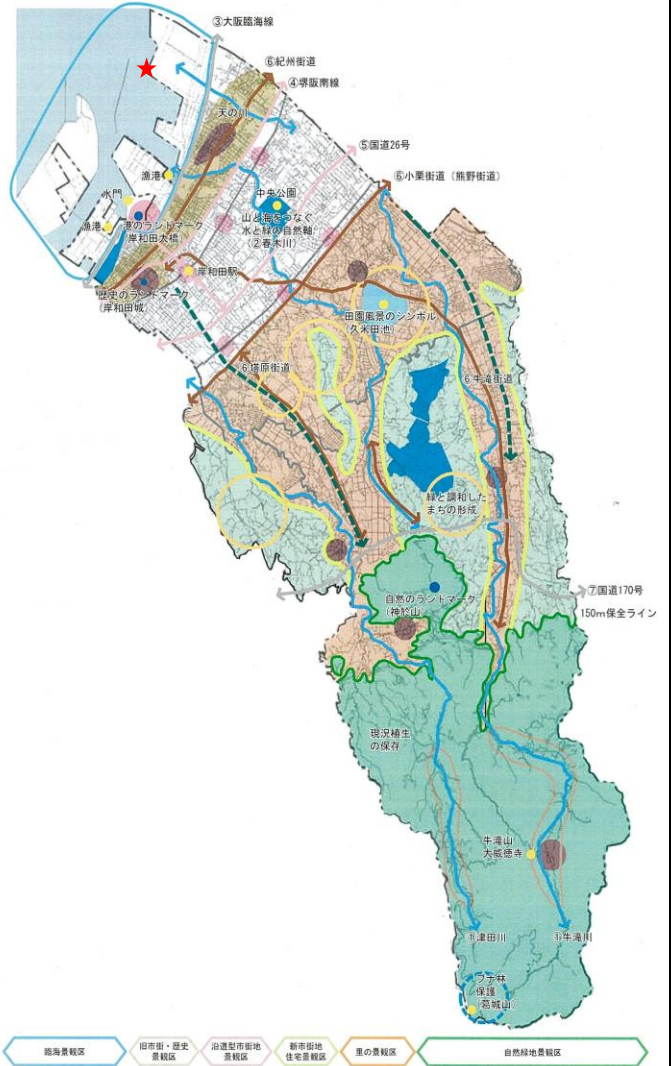
### 【写真】



### 【位置図】 大芝校区



### 【景観誘導図】



基本景観区域名	臨海景観区
景観軸	大阪臨海線
景観配慮地区	—

### ■エピソード No. 48 「たくさん釣りたい」

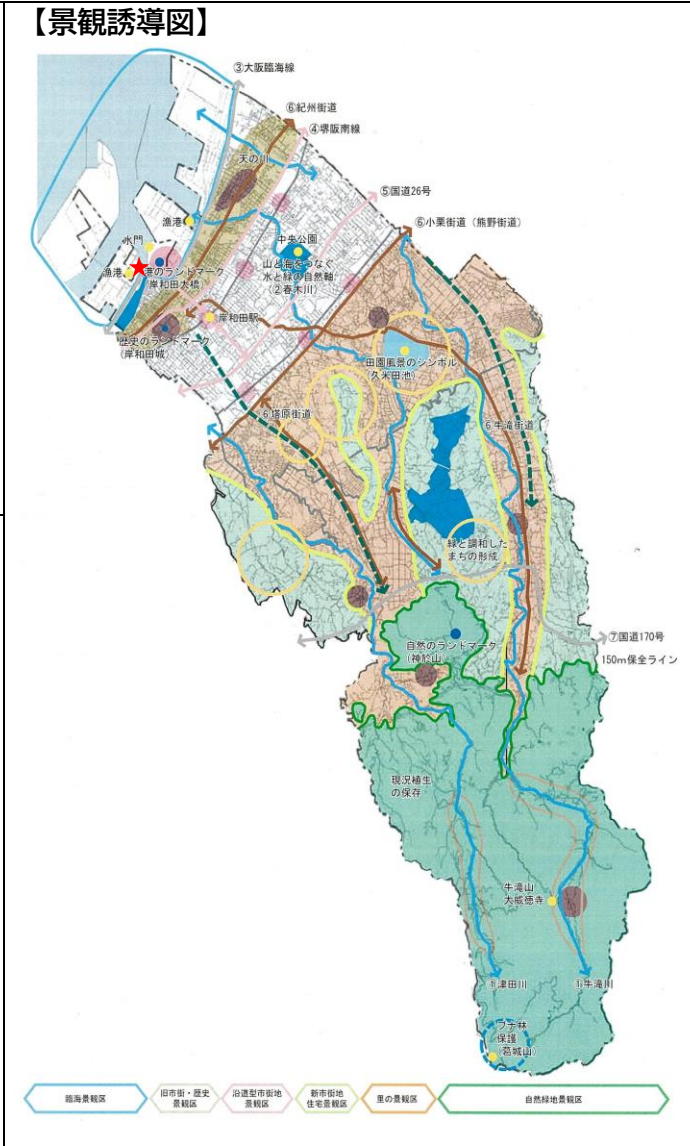
この日は僕も釣りに来ていて、1匹も釣ることができなかったです。帰り際に撮りました。後ろの船にはたくさんの魚が乗っているんだろうなあと羨ましく思い、僕もたくさん釣りたいなあと思いました。そして、手前の釣人たちにはたくさん魚が釣れるようにと心の中で願って帰りました。(15歳男性)

### ■講評

木村コンビナートの白灯台があるこの場所は、岸和田市内の釣り人の誰もが知っており、親しまれている場所である。魚釣りは昔からある手軽なレジャーとしての営みであり、深く市民生活に溶け込んだ景観となっている。



② 春の訪れを告げる「いかなご漁」



基本景観区域名	臨海景観区
景観軸	大阪臨海線
景観配慮地区	岸和田旧港

■エピソード No.16 「春の訪れを告げる「いかなご」漁」  
 2月末ごろから、大阪府鰯巾着網漁業協同組合がある地蔵浜で水揚げされる「いかなご」。早朝に出港した漁船が帰ってくると港は漁業関係者の活気で溢れます。いかなごを使った「くぎ煮」は、若い頃は食べようと思わなかったけど、年齢を重ねると、春の訪れを感じさせてくれると同時に、祖母や母親の手作りの思い出、漁師さんの仕事風景を蘇らせてくれる1品に変わりました。(45歳男性)

■講評  
 岸和田漁港では鰯巾着網漁業を主としており、大阪府下でも上位の水揚げ量を誇っている。きれいに漁船が並ぶ港は、日々自然と向き合って作業をする漁師の方々の活気と、マルシェにやってくる人たちの賑わいを感じられる。今後も岸和田の象徴となるひとの営み景観を受け継いでいってほしい。

③ 農業まつり

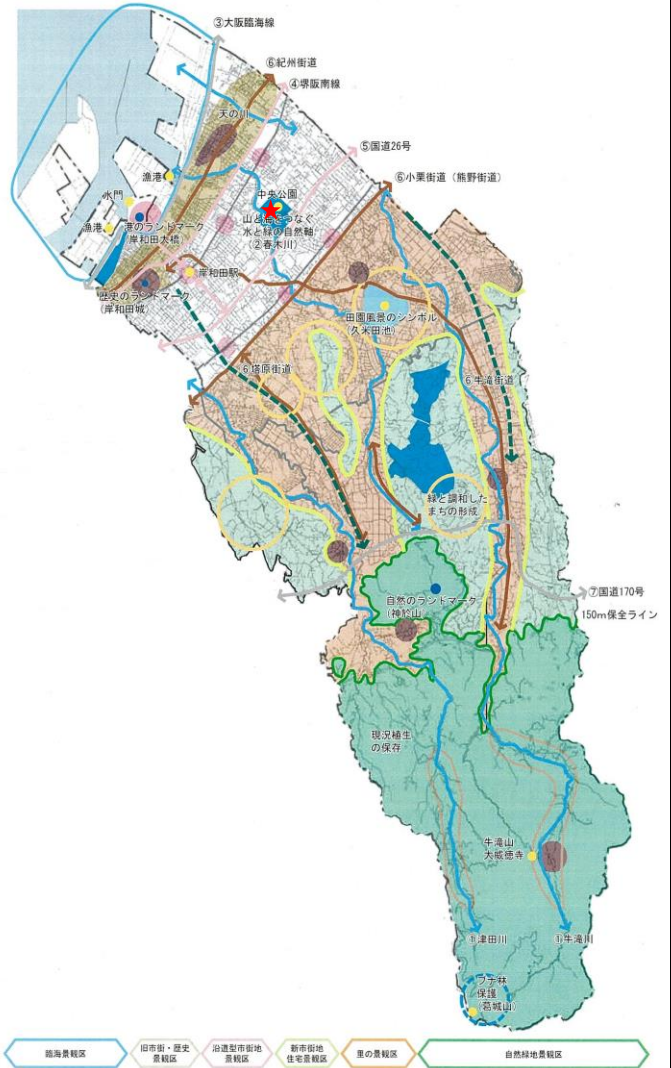
【写真】



【位置図】 大宮校区



【景観誘導図】



基本景観区域名	沿道型市街地景観区
景観軸	国道 26 号線
景観配慮地区	春木川周辺

■エピソード No. 22 「農業まつり」

毎年開催されていた農業まつり。農産物の販売やステージでの催しなどたくさんの人々が集まり、賑やかなひとの営みを感じられる景観です。今年は残念ながらコロナウイルスによる影響で中止となりましたが、またこのような紅葉の下、多くの人々が集まれる日々が早く戻ってくることを願っています。(32 歳男性)

■講評

中央公園で開催される行事の一つとして、30 年来開催されてきた農業まつりがある。当日は農産物の直売所などたくさんの催しがあり、多くの市民が集まる一大イベントになっている。また、公園内の樹木などもきれいに管理されており、自然と人々が織りなす営みや賑わいが色濃く感じられるひとの営み景観である。

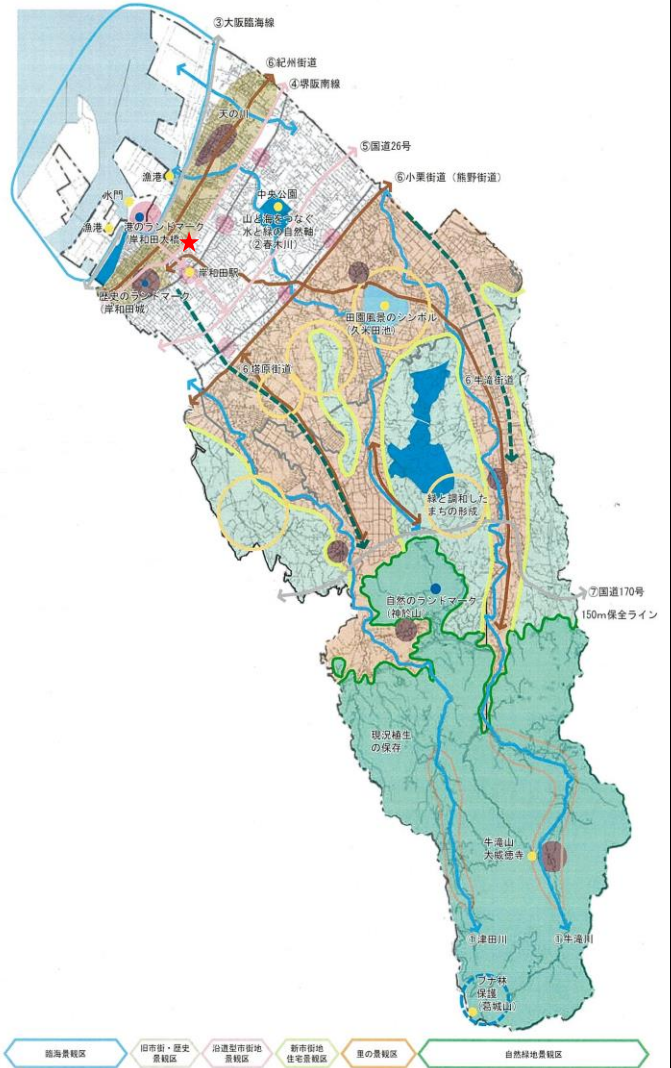


④ 岸和田観音 節分

【写真】



【景観誘導図】



【位置図】 中央校区



基本景観区域名	旧市街・歴史景観区
景観軸	堺阪南線
景観配慮地区	—

■エピソード No. 45 「岸和田観音 節分」

いにしえから災害や疫病から身を守るために祈ってきた人々。お参りに来ているたくさんの人の姿に時代が変わっても人々の気持ちは大きく変わらないのだな、と気づかされる。古い時代にも、きっと同じような景色があったはずというノスタルジーな気分になれるひとこま。(44歳女性)

■講評

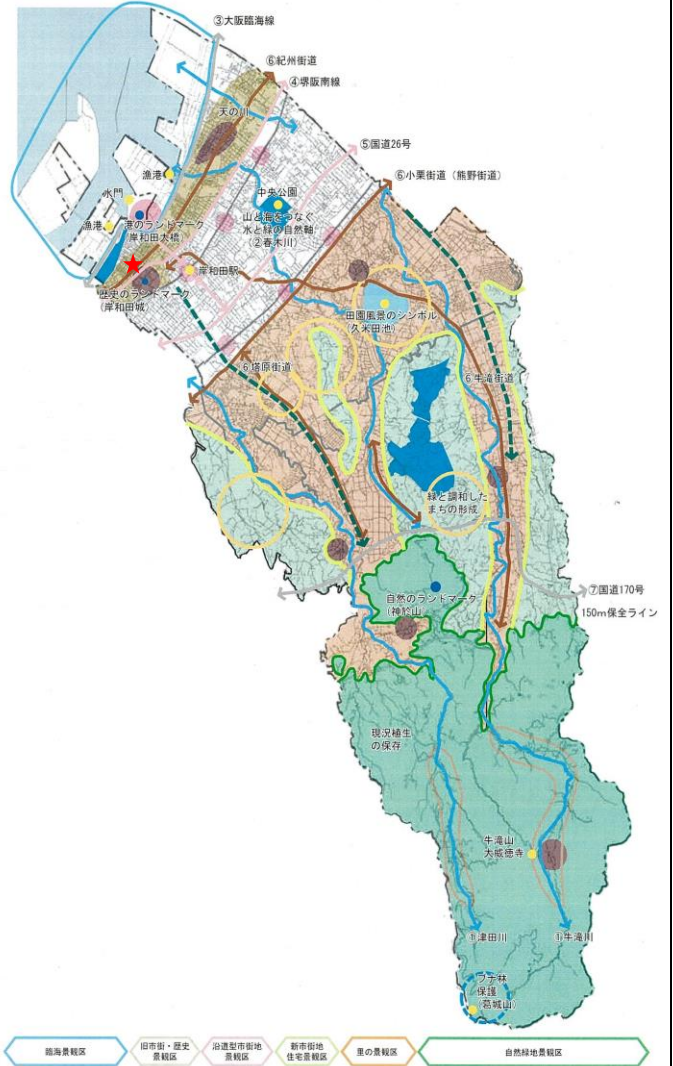
古より災害や疫病から身を守るために祈ってきた人々の様子がわかり、歴史と賑わいが感じられる営み景観である。境内は普段から美しく管理されており、市民の暮らしに溶け込みながらも四季折々の趣が感じられる。後世に継承してもらいたい景観である。

⑤ 頼もしい応援団と歴史的なまちなみ（本町）

【写真】



【景観誘导图】



【位置図】 中央校区



基本景観区域名	旧市街・歴史景観区
景観軸	旧街道
景観配慮地区	岸和田城周辺

■エピソード No. 30 「頼もしい応援団 本町」  
 いつまでも見守り隊！追っかけ隊！娘と母のド根性風景（72歳男性）

■講評

だんじりの後ろを追いかける応援団の存在は、地町への愛着や賑わいや親しみを感じさせてくれる。古くから受け継がれてきた歴史的なまちなみと祭りの風景は、今も昔も地元の方々から愛され、生活に溶け込んだ景観である。今後も地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りであってほしい。

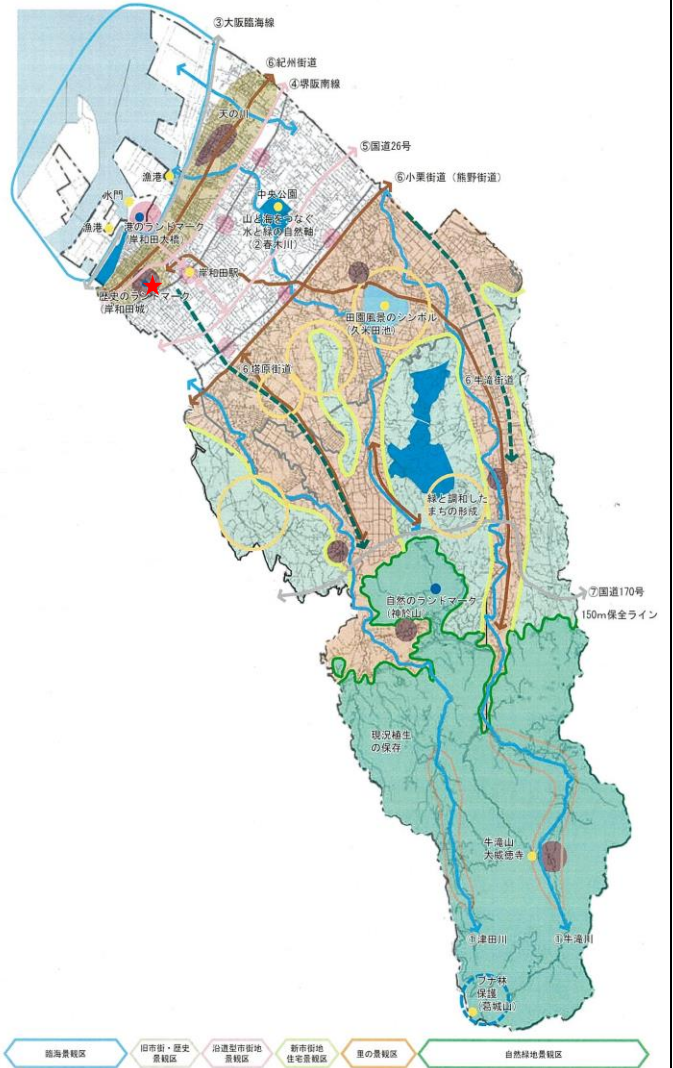


⑥ 岸和田城とだんじり祭り

【写真】



【景観誘导图】



【位置図】 城内校区



基本景観区域名	旧市街・歴史景観区
景観軸	堺阪南線
景観配慮地区	岸和田城周辺

■エピソード No.3 「岸和田だんじり祭り」

去年の岸和田だんじり祭りで岸和田城をバックにして撮りました。心に残る伝統はやっぱり岸和田だんじり祭りです。(31歳男性)

■講評

岸和田だんじり祭りは市民が一番集まり関わっている岸和田ならではの人の営みであり、歴史や伝統、賑わいや親しみを感じられる。また、岸和田城は岸和田のシンボルであり、城と祭りは市民にとって欠かせないものである。今後も、地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りであってほしい景観である。

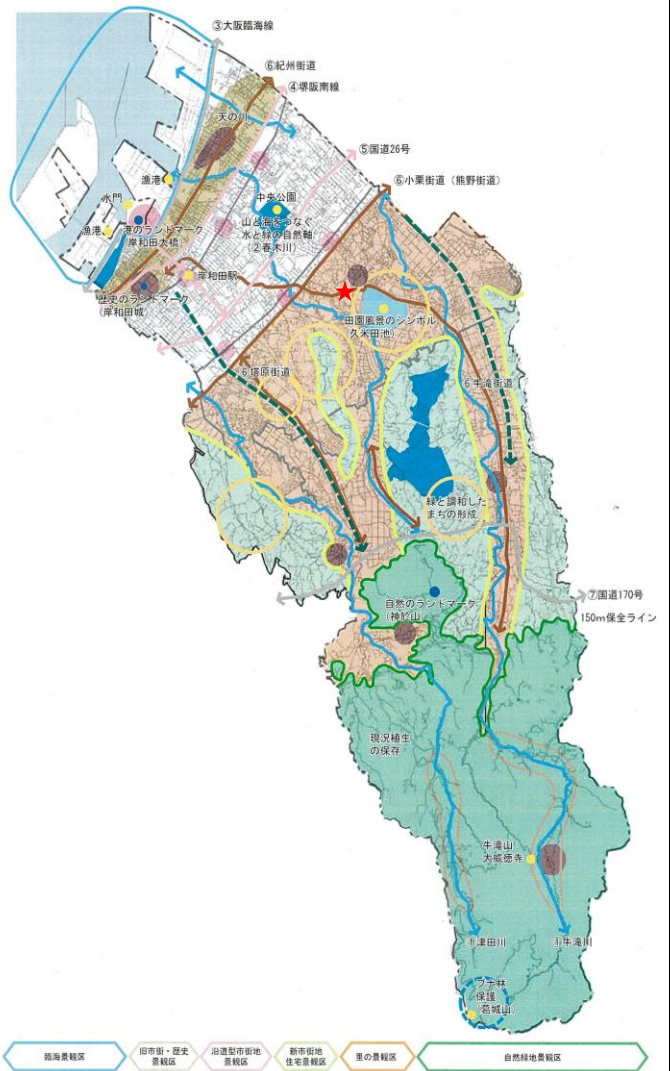


⑦ 古代の人々の営みを思い私たちは確かめる

【写真】



【景観誘导图】



【位置図】 八木南校区



基本景観区域名	新市街地住宅景観区
景観軸	—
景観配慮地区	久米田池周辺

■エピソード No. 31 「古代の人々の営みを思い私たちは確かめる」

2018年5月和歌山大学岸和田サテライトと岸和田市図書館との共同企画の「久米田を編集する」という地域の情報をオープンデータとして公開し、地域活性化につなげていくイベントが久米田寺付近で行われた。久米田寺付近は古代から人々の営みが行われ多数の古墳がある。久米田寺のすぐ隣の風吹山古墳の上から市内を見渡すと今の私たちの営みが広がっていた。人の営みをつないでいる景観を実感した瞬間だった。(76歳男性)

■講評

久米田寺に隣接する久米田公園内に貝吹山古墳、風吹山古墳、無名塚古墳があり、その周辺にもいくつかの古墳が存在することから、その地域は久米田古墳群と言われ、大阪府の史跡名勝にも指定されている。小高い古墳の上に立ったとき、古代のロマンと現代との結びつきが感じられた。これからも後世に語り継いでもらいたい。

⑧ 久米田寺千本搗き

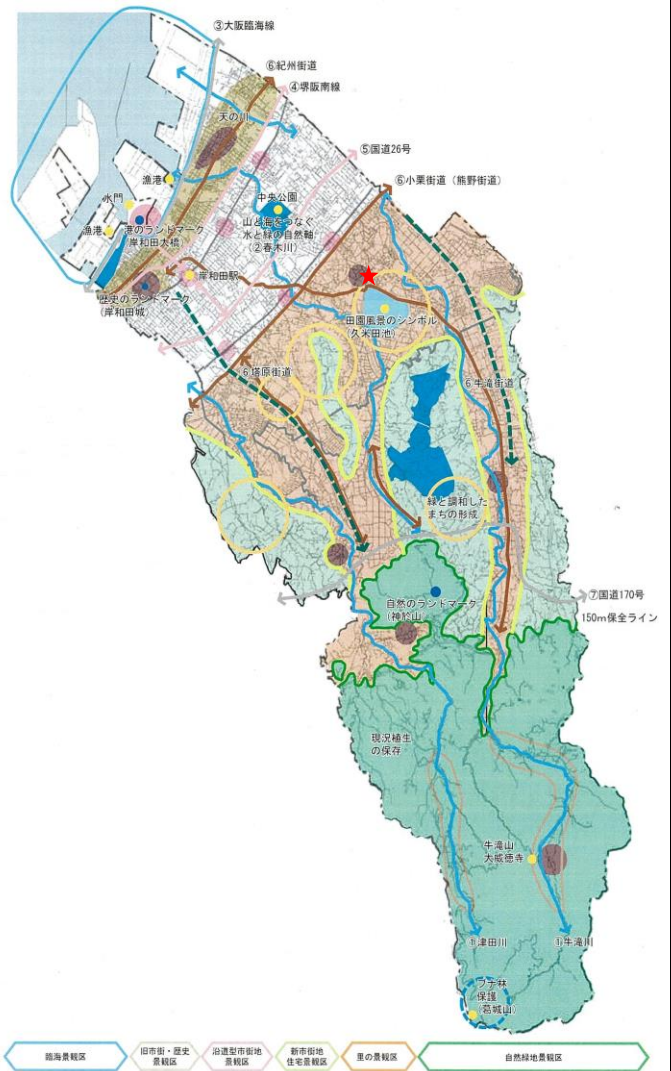
【写真】



【位置図】 八木南校区



【景観誘导图】



基本景観区域名	新市街地住宅景観区
景観軸	—
景観配慮地区	久米田池

■エピソード No. 46 「久米田寺千本搗き」

新しい年の始まりの風物詩とも言える久米田寺の千本づき。たくさんの細い杵でお餅を搗く様子は家庭とは違った趣きがあり、地域の人たちの中で受け継がれてきた営みとしてテーマにぴったりだと思いました。(44歳女性)

■講評

久米田寺では、お正月の恒例行事として「千本搗き」が行なわれている。多くの子ども達が、一斉に棒状の杵で餅を持ち上げる様子はとても楽しげでまた誇らしげでもある。歴史あるお寺での行事は、地域の子も達にとっても歴史を感じられ、岸和田の歴史と文化を色濃く感じさせる景観になっている。

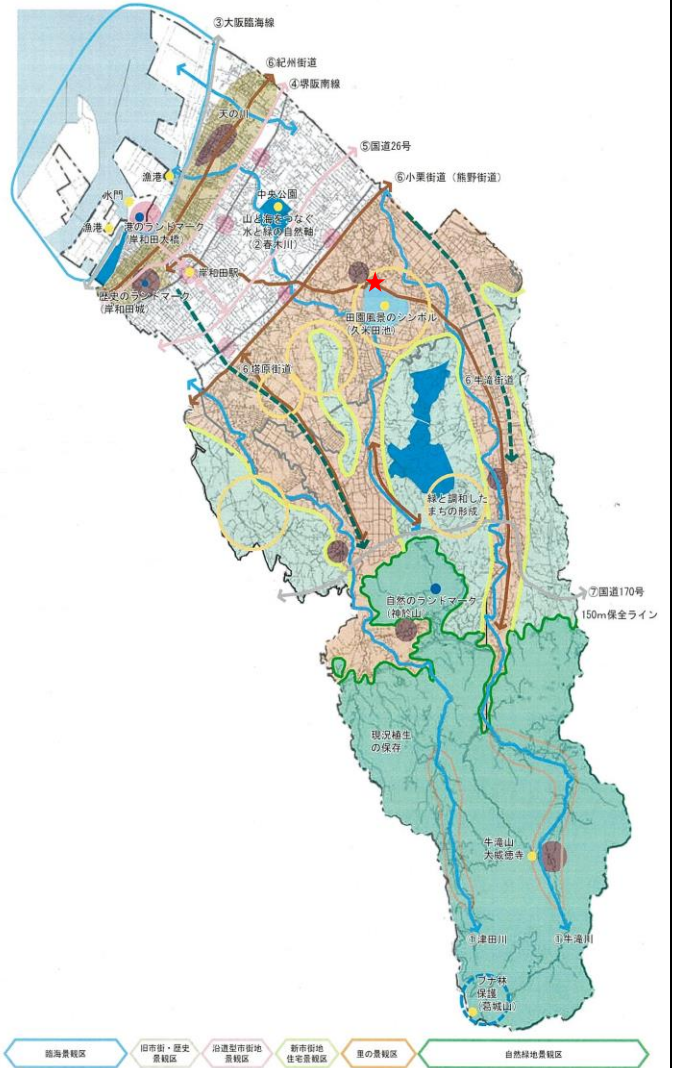


⑨ 田を潤す久米田池

【写真】



【景観誘导图】



【位置図】 八木南校区



基本景観区域名	新市街地住宅景観区
景観軸	—
景観配慮地区	久米田池周辺

■エピソード No. 37 「久米田池」

写真は、久米田池で、手前の「満水標」の頭が約 50 センチ見えています。これらの水が、久米田池下流に広がる田を潤し、米を育てた証です。(60 歳男性)

■講評

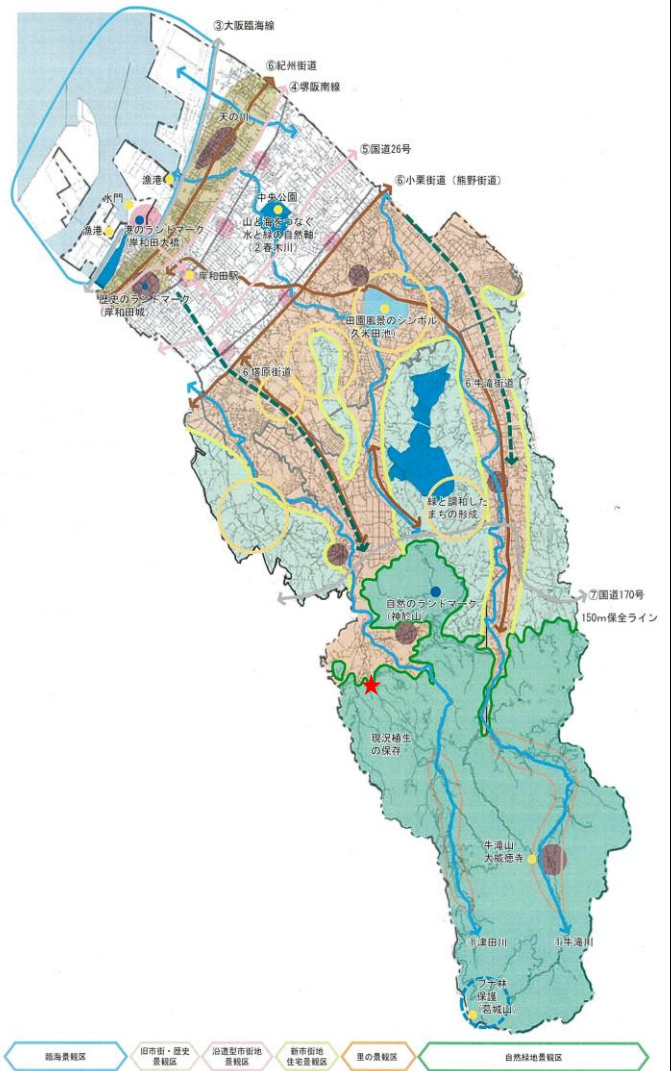
世界かんがい施設遺産などに指定されている久米田池は、僧行基によって造られてから何百年もの期間、田を潤し米を育て、人々の生活を支えてきた池である。今も昔も変わらず、地域の人々の農の営みを支えており、今後も生活景として地域に馴染んで語り継がれていくことを期待する。

⑩ 東葛城小学校・幼稚園の田植え風景

【写真】



【景観誘导图】



【位置図】 東葛城校区



基本景観区域名	自然緑地景観区
景観軸	旧街道
景観配慮地区	—

■エピソード No.17「東葛城小学校・幼稚園（東葛ふれあいファーム）の田植え風景」

東葛城小学校・幼稚園では、地域のJAさんと共同し、東葛ふれあいファームでの農業体験が行われている。東葛ふれあいファームでは稲や玉ねぎ、サツマイモなどの作物を育てている。子どもたちはふれあい委員さんやJAの職員の方から、植え付けや収穫について教えてもらう。収穫された作物は、給食としていただいたり、学校に関係のある施設にもっていったりし、活用されている。児童にとって農作業を体験することや食について考えることは、食育の一環となっている。東葛ふれあいファームは学校・園と地域をつなぐ場となっている。6月の田植え体験の様子である。現代の子どもにとって田んぼの中に入り、苗を植え付ける機会は多くない。子どもたちにとって、足から伝わる感触はとても新鮮な様子である。子どもたちの賑やかな声が地域にひろがる。学校と地域の結びつきを感じる風景である。(62歳男性)

■講評

神於山の麓にある農地の一角に「東葛ふれあいファーム」がある。農業体験は非常に良い取り組みで、子ども達にとっても貴重な体験であり、いい思い出となるだろう。学校と地域の繋がりが感じられるひとの営み景観である。



## 2. 総評

今回実施した発掘プロジェクトでは、新型コロナウイルスの影響により様々な行事が中止されるなか、地域の歴史や文化などを特徴づけ、郷土への懐かしさや親しみが感じられるものや、人々が織りなす営みや賑わいが色濃く感じられる生活景として地域に馴染んだ、こころに残るひとの営み景観として合計49件の応募があった。

まちかど審査では例年多くの市民等が投票に参加され、岸和田城や久米田池など岸和田のシンボルとなる景観をはじめ、地域活動や人々の暮らしにより形成された地域固有の魅力が感じられる景観などこれまで以上に郷土への愛着と新たな景観を発見するきっかけに寄与したと思う。

また本委員会による現地調査では、イベントなど行われていない状況のなか、写真やエピソードからイメージを膨らませ、応募者の地域への想いに触れ、当該地でのひとの営みや賑わいを想像し再発見することができた。

今後も本プロジェクトを通じ、岸和田の優れた景観に気付き、岸和田の魅力やなりわいが広く人々に認知され、継承されていくことを期待する。

岸和田 景觀 MODE